

2025-26年度 第2650地区スローガン  
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

**YAMATOTAKADA ROTARY CLUB**

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス [ytrotary@abelia.ocn.ne.jp](mailto:ytrotary@abelia.ocn.ne.jp)  
地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール  
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第31回(通算3071回)2026年(令和8年)4月7日号

本日の例会(4月7日)

「“お育て”をいただくということ」  
浄土真宗本願寺派 教恩寺住職  
シンガーソングライター やなせなな 様

次回の例会(4月14日)

クラブフォーラム(国際奉仕委員会)  
「シンガポールバンザイ!!!」  
大和高田ローターアクトクラブ 竹岡遼弥会長



3月29日の例会報告  
会長の時間

皆さん、こんにちは。今日は桜も満開に近づいてまいりました。我々のこの65周年記念式典を祝っているような桜であります。1961年3月、今から65年前に大和高田ロータリークラブが設立されたわけですが、皆様はその時おいくつだったのでしょうか。私のことを言わせていただければ、まだ九歳の可愛い、ランドセルを背負った少年でした。そして当クラブの最高齢の方の年齢から65を引かせていただくと、まだ20代の若い爽やかな青年だったと思います。その当時のチャーターメンバーの方々はおられませんが、65年前の設立時の思いを胸にこの式典を進めたいと考えております。当時何を思い描いて活動されたのか。やはり地域への思い、何かできることはないかという思いの中で、チャーターメンバー24名の方が活動されて発起されたと思います。我々はこの経済不況とか、コロナパンデミック、石油ショック、今も戦争がちょっと起こりつつありますが、そのような状況が65年間にはかなりのことがあったと思いますけども、我々の先輩方は今日までずっと地域のことを考え、ど

ういうことが奉仕として役立つことかということを考えてもらいたと思います。

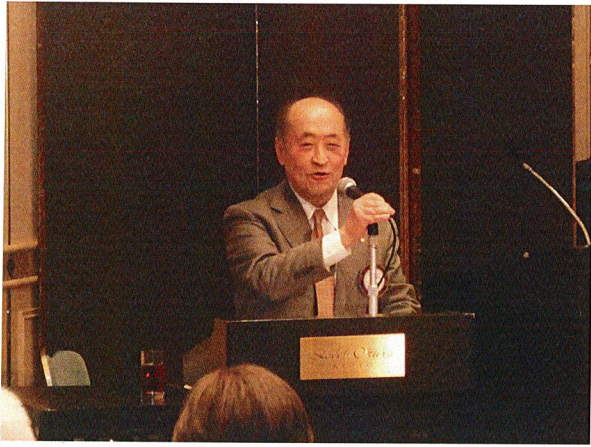
今日はお集まりの皆様を含めて、我々はその思いを汲みつつ、これからのロータリーの精神、奉仕の心というものを大切にしながら頑張っていきたいと思っております。開会にあたりまして、いろんな思いを抱いた先輩方に敬意とその心に感謝申し上げます。

そして、ここにおられる皆様方、私も含めまして、ロータリー100周年に向かっての決意を改めてさせていただきたいと思っておりますし、また100周年に向けての歩みを我々は今これから動かなければならないと考えております。どうか今後も引き続きロータリーの奉仕の精神にのっとりまして、熱い協力とご奉仕いただくという気持ちをいただけたら、今日のこの式典、成功だったと思っております。

幹事報告

- ◎理事会報告  
バナーのデザイン変更を報告・提示(希望者には有償配布)
  - ◎退会者2名を報告  
伊森隆敏 会員  
志賀正博 会員
- ※出席率報告は次号の週報に掲載いたします。

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]  
1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか



## 会長挨拶 (式典)

今年は65周年ということで、ロータリークラブの節目とする期間ですので、過去の先輩の活動と事業について、今日に至るまでのことを喋らせていただきます。

1961年3月に我々のロータリークラブは奈良ロータリークラブ、橿原ロータリークラブ、五條ロータリークラブの3クラブをスポンサーとして、チャーターメンバー24名で発足いたしました。

そして会員は順調に増強されまして、1996年と1998年が最も多い会員を擁しております、117名という数になっております。現在は今日、若干残念なことに退会者が出ましたけれども、85名ということで今日に参っておるわけでございます。

ただ、この数字を見ますと、減ったというふうに言われますけれども、これは奈良県下では奈良ロータリークラブに続いての2番目の大きい規模であります。そして、奈良の第2グループではナンバーワンのグループでありますので、我々はそういうことを自覚しながら、各他のロータリーの活動にも積極的に参加するべきではないかなというふうには私と考えております。

我々は伝統と歴史ということで、格式を重んじて今までやってこられましたし、またこれからも続けていきたいと考えております。そこで、65年間の事業についてちょっとお話しさせていただきますと、主なことだけ拾いますけれども、創立20周年において王寺ロータリークラブというのを我々がスポンサーさせていただきました。

それは現在のやまと西和ロータリークラブになります。そして1995年4月にオーストラリアのリズモー西ロータリークラブとの姉妹提携を結ばさせていただきました。そして、それは現在も続いておるということでございます。

あと35周年記念として、本日来ていただいておりますけれども、ローターアクトクラブというのを先輩方が設立されました。そして今年30周年という記念の年を迎えておられます。1996年の7月には当クラブにおいて足高晋会員が2650地区という、我々の所属の地区のそのガバナーに就任されたという、大変名誉のある年でありました。

あと我々は奈良県第4組でIMインターシティミーティングという、ロータリー間のイベントを過去2回、2001年と2014年の2回にわたって開催させていただきました。

何年後には我々のところにまた IMも回ってくる

ということも、我々は心しておかなければならないと思います。それとあと、具体的な事業ですけども、私、今日挨拶させていただくにあたり、先輩方の活動というのをいろいろ勉強させていただいたわけですけど、本当にすごい事業は当時からあったと思います。

で、その一番ちょっと感動したことは、青少年を対象としたワンダーメイツというのがありました。その本を読ませていただきますと、すごい話で、修験の山岳道路を歩くということで、たしか葛城山から香芝の中学校まで歩かれたということです。

で、何を最も感動したかということ、もしこの事業を今やるとすれば、誰が歩けるのかと。本日の参加者でということをお考えますと、その時のメンバーの企画力と行動力の凄さというのは、本当に感動するものがあったということで、私、1番目に選ばさせていただきます。

これが1974年、関屋の小学校で一旦泊まって、あと信貴山までまた歩いたそうです。

2番目に選ばさせていただいたのは大和高田市立病院でホスピタルアートというのをしまして、廊下とか小児病室、それから新生児室のそれぞれにおいて絵を描いて、病院という雰囲気を明るい雰囲気にしようという試みで、3年間にわたってされました。

それと3番目には、大和高田市の障害児入所施設へのパソコンの寄贈と、寄贈だけではなく、講習会も開いて、その入所者の方に勉強していただいたという、我々ロータリーにとって最も基本的な事業内容であったかと思えます。

この3点以外にももちろんたくさん事業をされておるんですけども、今日に至るまでこのような事業をさせていただいたということでございます。それから、これからいよいよ65周年記念事業ということで、述べさせていただきますと思います。

ロータリークラブというのは世界の団体ということで、RIの会長の方針の中に良いことのためには手を繋ごうというテーマが掲げられております。そして 未来へ繋ごうということで、革新こそが変化する世界で私たちが適正に生きていける手段であるということをお述べられております。

そのためには、若い新入会員と現在の我々、ベテラン会員も含めて、ロータリー活動は全員で行わなければならないということをお、地区の小崎ガバナーが述べておられます。そこで私は今年会長をさせていただきましたので、目標としています。

過去を明らかにして未来を考えようということで、私としては、今まで65年間の先輩の歩まれた精神は もちろん引き継ぎながら、変更した方が時代に合うんじゃないかということをお、ちょっと検討させていただいて、ご理解いただけることは若干変更させていただいたと考えております。

そして主な事業としては、青少年の健全育成として、當麻寺中之坊において中将姫のお話と写経ということで、これは小学生から中学生を対象にして開催させていただきました。

2番目には大和高田を元気にしよう、高田川の大中公園に桜を植えて、高田の千本桜をもう一度元気にしようということで、植樹をいたしました。それに合わせて、大和高田市も再び復活してもらいたいという気持ちで事業をさせていただきました。

3番目にはエッセンシャルワーカーと言いまして、我々のこの地域において、日夜勤務されております高田警察、香芝警察、そして高田市立病院の方々九名を表彰させていただきました。で、我々は感謝をしております。

4番目に子ども食堂への支援ということで、ちょうど去年から今年にかけて食品の物価が高騰しておりますので、特にひとり親世帯の方はかなり困窮されている方もあるということを知り、その方になんとか援助したいということで、お米の援助をさせていただきました。

主な事業はそういうことでございます。そして次にロータリー内部ですけれども、新しいホームページを作成させていただきました。以前のホームページよりかなり見やすくなったと思いますので、もしお時間があればまた見ていただけたらと思います。

そして新しいバナーを作成いたしました。

3年に一回、世界のロータリークラブでは定款を見直す年に当たっておりますので、定款と細則を見直させていただきました。

そして内規ということで、危機管理委員会という時代にあった、ハラスメントとかいろいろありますので、そういうための新しい委員会も作らせていただきました。それを規則に載せたということでございます。

そして物故会員供養例会ということで、これは我々65年間に貢献された物故会員の方々への感謝の気持ちを込めてさせていただきました。

65周年にふさわしい年度の事業を、それなりに私なりに考えさせていただいて、会員の皆様にご協力いただきながら、このように活動しております。

そしてあと、今年1年の多くの経験を通じて、会員の皆様それぞれ交流親睦、それをベースに、我々伝統ある大和高田ロータリークラブは、これからも先輩方の残された精神を引き継ぎ、100周年に向かって頑張っていきたいと思っておりますので、皆様方のご協力よろしくお願ひしたいと思います。

現在85名という数が少ないかといえば、決して少ない数字ではありません。我々のクラブというのは規模も本当に大きいです。この組織は、ロータリークラブを動かしていただける素晴らしい団体として出来上がっていると思います。

最後に、この歴史と伝統のあるロータリークラブのさらに発展を願うとともに、ここにご出席の皆様方へ今後ともご支援、ご鞭撻をいただきまして、挨拶とさせていただきます。

### 姉妹クラブのリズモー西ロータリークラブからのメッセージ

姉妹クラブである大和高田ロータリークラブの皆様へ。大和高田、そして世界の地域社会に貢献し続けて65周年を迎えられることをお祝い申し上げます。この節目を迎えられたことにより、心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますの発展をお祈りいたします。

長年にわたる皆様との友情を私たち会員一同大切にしております。本メッセージは、当クラブ理事会の承認を得て、会員全会員の賛同の下にお送りいたします。2026年3月5日ピータードラヒー会長他役員の皆様からメッセージをいただいております。



蘭陵王の演舞披露



清水良彦会員による蘭陵王の演舞

### 講和

川中光教会員（浄土宗総本山 宗務総長）

日本の仏教、寺院について普段聞けないような内容の貴重なお話をいただきました。

- ・日本仏教界の主要宗派と規模
- ・日本仏教の歴史の変遷と各宗派の成立
- ・宗教法人法の問題と全日仏の役割
- ・浄土宗の寺院数減少と廃寺問題
- ・浄土宗の宗務体制と宗務総長の役割
- ・コロナ禍における宗派運営
- ・海外での宗派活動 — 中国・ハワイ・ブラジル

等

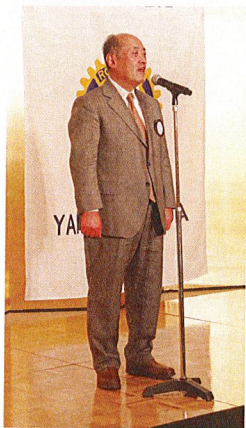


# 親睦家族会



京おどりによるオープニング

## 山田会長 挨拶



これからはいよいよ懇親会ということで、私の本音の出る時間になりますので、一言、一言二言挨拶させていただきますと、奥様方も今日は多数お見えですので、お聞きいただけたらと思います。

毎週火曜日ロータリークラブへ行くということで、家からお見送りいただいている奥様方にお願いがございませう。と言いますのは、ロータリークラブというのは、先ほども言いましたように、社会奉仕する団体であります。

快く見送っていただけたら一番出やすい雰囲気になりますので、一つよろしくお願ひしたいと思います。

それと先ほど講演で川中さんに講演いただきましたが全国の方ということで、本当にお忙しい中で来ていただいて何年もの活躍についてを立派なお話をさせていただきました。

本当にありがとうございました。



村島靖一郎会員による乾杯



コール輪音



コール輪音



杉田先生独唱



